

# ふあひ 広場



芳賀氏は真岡を本拠地とした豪族でしたが、鎌倉時代の永仁年間に飛山城を築いて移り住み、姓を「清原」に改めました。そのとき、菩提寺として建立されたのが同慶寺です。本堂の東側に、芳賀氏累代の十四基の墓碑が一行に並んでたたずんでいます。その前には、芳賀氏の子孫が明治33年に建てた合同碑があり、累代の法名が刻まれています。梅の花の時期には多くの人がこの寺を訪れます。そんな人たちにも、この貴重な文化財を通じて宇都宮の歴史に触れてほしいですね。



竹下町  
福田玄英さん

## 芳賀（清原）氏累代の墓碑

昭和33年7月21日・市指定史跡

文化財ウォッチング